



# 松山通信 1・2・3月号

## Matsuyama Press

第5号  
発行日：令和元年3月19日

# 第七十回卒業証書授与式



3月2日(月)、第七十回卒業証書授与式が挙行され、3名の生徒が卒業しました。本年度は臨時休校のため卒業生、保護者、教員、在校生代表者のみの参加となりました。

式では、卒業証書授与に続き、松下校長が「他者と素晴らしい贈り物がし合える人間に成長してほしい」「混迷の社会で生きていく皆さんに自らの世代につなぐために『種を蒔き、苗を植える』という姿勢を身に付けてほしい」と、卒業生一人一人の顔を見つめながら式辞を述べました。その後、在校生を代表し、高梨万桜さんが卒業生への感謝とともに、「私達は三名の先輩方がそれぞれ夢を実現するためにたゆみなく努力してこられた姿を近くで見えました。こうした先輩方の姿こそ私達の学校生活での目標であり、心の支えでもありました。先輩方を見習うべく私達も後輩を支え、目標になれるようがんばっていきます。」という決意を込めた送辞を述べました。

卒業生答辞では、高梨真柊くんが4年間を振り返り、「人と関わったり人前に出たりするのが苦手だった私にとって生徒会での活動は非常に大きな挑戦でしたが、会長となり、様々な活動を通して人前に立つことも徐々に苦ではなくなり、自分自身の成長を実感しました。」と述べた後、2人のクラスメイトとの想い出とメッセージを伝えました。そして、武内ゆかりさんが「昼バイトに行き夜学校に通うのはとても大変で疲れることも多く、途中で諦めそうになったこともありました。ですが、そのたび周りの人たちにかけられる「頑張つて」という励ましや声一つで「また頑張ろうかな」という力に繋がっていました。」と続けました。更に藤本拓実くんが「4年間の部活動では、辛い時だけではなく、楽しんでいてくれる人もたくさんあり、それはチームメイトや先生方の支えがあったからこそだと思います。」と後を受け、卒業生3名がそれぞれの思いを自身の言葉で述べました。そして最後に、高梨くんがこれまで支えてくれた家族への感謝の気持ちを述べ、答辞を締めくくりました。卒業生退場の前に、卒業式に参加できなかった在校生全員からのメッセージビデオを上映しました。卒業生との思い出や、「式には参加できませんでしたが、これからも応援しています。」など温かい言葉が送られました。

【卒業生表彰一覧】  
○方谷賞 高梨 真柊 くん

○全国高等学校校定時制通信制教育振興会  
会長賞 藤本 拓実 くん

○後援会長賞 武内 ゆかり さん



## 4年生を囲む会

2月18日(火)に、生徒会主催の4年生を囲む会を行いました。買い出しや調理は各学年ごとに行い、1年生はやきそばとクレープ、2年生はキムチ鍋、3年生はシーフードカレーとサラダを作り、卒業を控えた4年生をもてなしました。生徒会長の濫谷くんの挨拶で会が始まり、4年生は1人ずつ各学年のテーブルを周り、下級生の作った食事を楽しみながら時間を過ごしました。食事後は学年を越えたグループでのカードゲーム、その後体育館へ移動してドッジボールを行いました。会の最後には4年生一人ずつから在校生へ向けてメッセージを送り、副会長の菅野さんの挨拶で閉会となりました。



2月9日(日)に行われた高梁マラソンへ、本校から生徒3名と教員5名が参加しました。生徒は3名とも10キロのコースへ挑戦し、全員が制限時間内に走りきることができました。参加しなかった生徒や教員も応援に駆けつけました。

# 高梁ふれあいマラソン



# 体験学習



1月28日と2月4日に行われた総合的な探究の時間は、キャリア応用を選択している4年生の2人が企画、運営をしてくれました。28日は高梨くん主催の漢字クイズ大会を行い、読めそうで読めない漢字の読み問題にグループで挑戦しました。4日は武内さん主催のケーキ作りを行い、フルーツなどを使ってグループごとにデコレーションをしました。他学年と交流しながら活動する、楽しい時間となりました。



令和元年度岡山県高等学校体育連盟表彰授与式にて、4年生の藤本くんが定時制通信制高校バドミントンの優秀選手として表彰されました。藤本くんは4年間選手として練習に励み、本年度は岡山県代表選手の1人として全国大会へ出場しました。受賞おめでとうございます。

# 優秀選手表彰



# 同窓会入会式

2月28日(金)に同窓会入会式を行いました。臨時休校のため規模を縮小しての挙行となりましたが、同窓会会長の宮本さんに来ていただき、温かいお言葉を頂きました。



新年度の登校について  
令和2年度始業式は

**4月8日(水)**です。

通常通り、17:40に遅刻しないように登校してください。

4月9日(木) 入学式  
4月10日(金) 授業開始



以上の生徒が、今年度の皆勤賞・精勤賞でした。おめでとうございます。来年度も1日を大切に1年間登校しましょう。

令和元年度 皆勤賞・精勤賞	
4年間皆勤賞	4年 高梨 真柊くん
4年間精勤賞	4年 藤本 拓実くん
年間皆勤賞	3年 井上 文子さん
	3年 瀬谷 健太くん
	4年 樋上 雅治くん
	4年 高梨 真柊くん
年間精勤賞	1年 片山 大河くん
	1年 矢吹 翔真くん
	3年 菅野 好さん
	4年 高梨 万桜さん
	4年 武内 ゆかりさん
	4年 藤本 拓実くん

## 1. 教育方針

学びつつ働くことのできる夜間定時制高校としての特性を生かし、生徒、保護者、地域社会から信頼される学舎として、自ら求めて学ぶ人物の育成に努める。

## 2. 教育目標

- (1) 地域社会への貢献と協働の精神の育成
- (2) 豊かな知性と情操に基づく文化的想像力の育成
- (3) 勤労を尊び、責任を重んじる職業観・勤労観の育成

岡山県高梁市立松山高等学校



高梁市原田北町1216-1

電話 0866-22-3618

FAX 0866-21-1007

HP: <http://www.sc.city.takahashi.okayama.jp/matsuyamako/>

検索キーワード

「希望の翼 松山高校」



働きながら学ぶ